

●雨音と共に、緑が深まる爽やかな初夏の景色。

○梅雨を彩るアジサイ、雨に映える豊かな色彩を楽しみませんか。

中山台の北側、桃林に挟まれた場所にアジサイの咲く小径（コミチ）があります。アジサイは、日本、中国、韓国を含む東アジア地域が原産国、特に日本では、6月から7月にかけて、雨に濡れた美しい花を咲かせることから「梅雨の花」として親しまれています。花色は土壌のpHによって変わり、酸性の土では青、アルカリ性の土では赤みを帯びた花を咲かせます。また、その美しい花姿と色の变化から、古くから和歌や俳句の題材にもなっており、松尾芭蕉は、「紫陽花や 昔を今の 色香にも」、また、与謝蕪村は、「紫陽花や たまにすぎゆく 雨の中」と句に詠んでいます。文化的にも重要な植物です。



アジサイ花後のお手入れ

【参加者募集】きれいに咲いたアジサイの花、来年もきれいに咲かせたいなら、花後の剪定作業は欠かせません。剪定後の枝を挿し木用に差し上げます。7月27日(土) 9時30分～12時実施 公園HPに詳細有



○園内名所案内「公方様の森」

公方様の森は、享徳の乱（1455年）により、鎌倉から追われ古河を本拠地とした足利成氏（初代：古河公方）が、この場所に最初に館を作ったことに由来します。その後、最後の古河公方5代義氏の娘、氏姫は、1620年46歳で没するまで、この地に住み続けたといわれています。現在の森は、ふるさとの風景である、里山の植生豊かな雑木林の森となっており、コナラ・イヌシデ・クヌギ・ウワズミザクラ等、来園者の方に木陰を供給する憩いの場となっています。



②公方様の森

○6月の花のご紹介

- ③ドクダミは、多年草の一種で林床などに小さな白い花を咲かせます。漢方薬としても使われています。公園のあちこちで見ることが出来ます。
- ④ナツツバキは、ツバキ科の落葉樹。公園正面入り口の左側に咲いています。
- ⑤ノウゼンカズラは、つる性の落葉樹で鮮やかな橙色の花を付けます。雪華園で見ることが出来ます。



③ドクダミ



④ナツツバキ



⑤ノウゼンカズラ

6月の昆虫【コシアキトンボ】

コシアキトンボは、本州・四国・九州に分布。大きさは40～45mm。池や沼などに生息し、園内でよく見かけるトンボの一種です。縄張り意識が高く、常に池の上を飛び回っています。名前の由来はお腹の上部だけが白く、体の真ん中（腰）があいているように見えることからコシアキトンボと名付けられた説があります。またメスと未成熟なオスはお腹の部分が薄い黄色をしています。初夏の御所沼をパトロールする様子や、お腹の模様などぜひ観察してみてくださいね。



★コシアキトンボ

★古河公方公園公式アカウントを開設しました！是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga_kubou
- X (旧 Twitter) @kubou_park

インスタグラムアカウント



X (旧ツイッター) アカウント

